



2023

第76期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

ティアック株式会社

証券コード:6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2023年9月30日をもちまして、第76期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
英 裕治
Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちハイエンドオーディオ機器事業は、次世代アンプのラインナップ拡充と新規ターゲットカテゴリーへの挑戦で更にブランド価値を高め、海外市場を伸ばす事で堅実な成長路線を引き続き目指します。プレミアムオーディオ機器事業は、引き続き中高級機のReferenceシリーズの更なる強化と、特色のあるアナログ製品や、すべてのカテゴリーにおいて新製品が競合に比べ常に個性的な価値を持つ事を目指し、収益とブランドイメージの向上に努めます。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、業務用デジタルミキサーのワールドワイド展開により、従来の録音再生機や各種周辺機器とともに、柔軟で質の高いトータルシステムソ

リューションの提供を強みとしたBtoB事業の拡大を目指します。また、BtoC事業においては、製品ポートフォリオの選択と集中を進め、付加価値を明確に中高価格帯へ転換し、採算性の向上と市場シェアの拡大を目指します。情報機器事業においては、当社のコアコンピテンスである「高度な記録と再生技術」をベースに計測、半導体、医療、移動体の各分野において最先端技術を組込んだ製品開発を行い、ニッチトップポジションの獲得を進めます。今年度は、新製品の4Kメディカルレコーダーの国内外での拡販に加え、新型コロナウイルスの5類への移行を機に、積極的な訪問営業に注力するとともに、直接ユーザーの声を聞くことで、それを反映した新たな商品開発へつなげることを目指します。

当中間期におきましては、その他に区分する産業用光ドライブ事業の縮小に加え前年度好調であった半導体装置市場が需要減少する一方で、円安進行により原価が上昇、また人的資本やマーケティング活動への投資を進めた事から、売上収益および営業利益は前年同期と比較して減少しました。また、為替相場の変動に伴い為替差損を2億円計上した事により、親会社の所有者に帰属する四半期利

益は前年同期と比較して減少し損失となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上収益は73億2千6百万円(前年同期比3.6%減)、営業損失は4千7百万円(前年同期営業利益2億7千8百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は3億6千8百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期利益3千1百万円)となりました。

通期の業績見通しについて

当社のBtoC事業は第3四半期、BtoB事業は第4四半期にそれぞれの需要期を迎えることから、当社グループの業績は、売上、利益ともに下半期に偏重する傾向があります。

2024年3月期の連結売上収益は170億円、営業利益6億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は3億2千万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

連結業績ハイライト(国際会計基準)

	第74期 2022年3月期	第75期 2023年3月期	第75期(中間) 2022年9月期	第76期(当中間) 2023年9月期
売上収益(百万円)	16,004	15,699	7,601	7,326
営業利益(百万円)	654	563	278	△47
税引前当期利益(百万円)	481	341	34	△357
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	392	305	31	△368
基本的1株当たり当期利益(円)	13.60	10.60	1.08	△12.78
資産合計(百万円)	10,081	10,958	11,606	11,594
資本合計(百万円)	2,468	3,112	3,003	3,129

音響機器事業 72.2%

売上収益 5,287百万円
(前年同期比 10.3%増)

セグメント営業利益 496百万円
(前年同期比 32.9%増)

ハイエンドオーディオ機器 (ESOTERICブランド) は、前期に上市したSACDプレーヤーやターンテーブル、8月上市のクロックジェネレーターの販売が好調に推移しました。国内の新型コロナウイルス感染症規制解除によるインドア消費減や猛暑での販売不振を、欧州での伸長分でカバーし、前年同期比で増収となりました。

プレミアムオーディオ機器 (TEACブランド) は、国内においては4月に上市したCDプレーヤーが堅調に推移し、また前期に上市した輸入スピーカーが貢献して増収となりましたが、米国、アジア地域の販売が伸び悩み全体では前年同期比で減収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、BtoB事業において設備市場向け製品の販売が堅調に推移したことに加え、業務用デジタルミキサーが海外市場を中心に好調な販売となりました。BtoC事業においては、出荷を開始したクリエイター向けレコーダーの新製品効果もあって、海外を中心に好調な販売となりました。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前年同期比で増収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業 21.7%

売上収益 1,589百万円
(前年同期比 21.2%減)

セグメント営業損失 97百万円
(前年同期セグメント営業利益136百万円)

計測機器は、データレコーダーにおいては、鉄道を中心に移動体向けの出荷が好調に推移しました。特に新型高速鉄道向けの多チャンネル計測は今後の成長が期待できる分野となります。センサーおよびデジタル指示計においては、リチウムイオン電池製造装置向けなど新たに開拓した分野が好調に推移したものの、前年同期に比べ半導体装置市場の需要が大きく減少したことから、計測機器全体では減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内市場においては消化器内視鏡向けレコーダーの出荷が減少しましたが、手術画像記録用レコーダーのフラッグシップモデルである4Kレコーダーが好調であったことから堅調に推移しました。海外での販売は米国・欧州ともに好調を維持し、同部門では増収となりました。

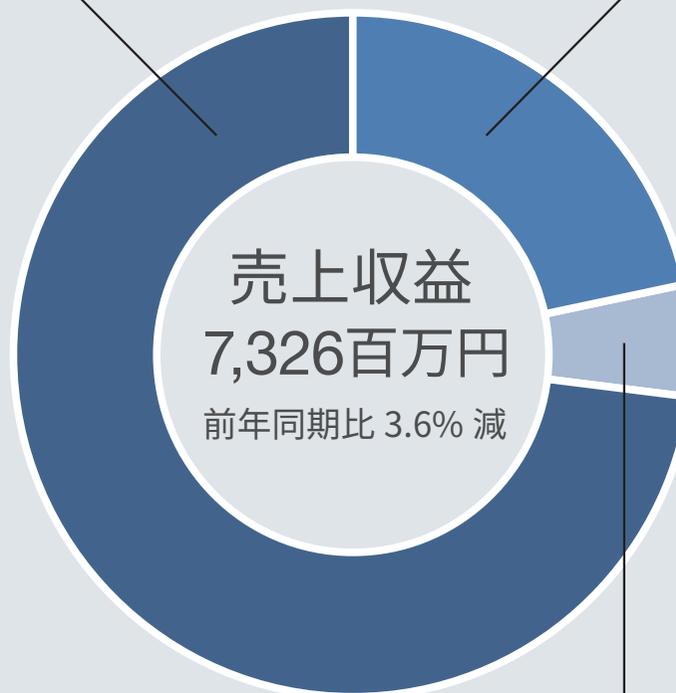
機内エンターテインメント機器は、国内エアラインへの導入が進んだことで顧客数も増加し、保守費、消耗品販売、コンテンツ供給などストック収益モデルの構築が進みましたが、海外顧客向けの保守部品販売が前期で終了したことから同部門では減収となりました。

ソリューションビジネスは、受託開発案件の受注が低調であったこと、また前期好調であった医用向けサーバーの受注が減少したことから前年同期比で減収となりました。

- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- 医用画像記録再生機器
- 機内エンターテインメント機器
- ソリューションビジネス

オリジナルブランド

TEAC



その他事業 6.1%

売上収益 450百万円
(前年同期比 43.3%減)

セグメント営業利益 61百万円
(前年同期比 70.0%減)

- EMS 事業
- 産業用光ドライブ

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2023年 9月30日現在	前期 2023年 3月31日現在
■ 資産		
流動資産	8,930	8,351
現金及び現金同等物	1,086	1,196
営業債権及び その他の債権	2,938	2,925
棚卸資産	4,638	3,862
その他の流動資産	269	368
非流動資産	2,663	2,607
有形固定資産	2,328	2,233
無形資産	113	143
繰延税金資産	30	36
その他の金融資産	141	138
その他の非流動資産	52	57
資産合計	11,594	10,958

(単位:百万円)

	当中間期 2023年 9月30日現在	前期 2023年 3月31日現在
■ 負債		
流動負債	6,018	5,316
社債及び借入金等	2,663	2,042
リース負債	357	448
営業債務及びその他の債務	1,566	1,281
引当金	666	717
未払法人所得税	17	21
その他の流動負債	748	806
非流動負債	2,446	2,531
社債及び借入金等	829	1,083
リース負債	913	685
長期未払金	626	689
引当金	43	43
繰延税金負債	15	19
その他の非流動負債	21	13
負債合計	8,465	7,847
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	3,129	3,112
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	11	11
自己株式	△ 122	△ 122
利益剰余金	1,801	2,194
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	1,369	959
資本合計	3,129	3,112
負債及び資本合計	11,594	10,958

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2023年4月1日~ 2023年9月30日	前中間期 2022年4月1日~ 2022年9月30日
売上収益	7,326	7,601
売上原価	4,097	4,254
売上総利益	3,228	3,347
販売費及び一般管理費	3,283	3,120
その他の損益	8	51
営業利益(△損失)	△ 47	278
金融収益	4	2
金融費用	314	247
税引前四半期利益(△損失)	△ 357	34
法人所得税費用	11	2
四半期利益(△損失)	△ 368	31
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者	△ 368	31
非支配持分	—	—

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2023年4月1日~ 2023年9月30日	前中間期 2022年4月1日~ 2022年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 211	△ 474
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 54	△ 62
財務活動による キャッシュ・フロー	97	902
現金及び現金同等物に 係る換算差額	59	68
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 110	435
現金及び現金同等物 期首残高	1,196	1,304
現金及び現金同等物 期末残高	1,086	1,739

要約連結持分変動計算書(2023年4月1日~2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益 剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	3,500	11	△ 122	2,194	△ 3,430	959	3,112		3,112
四半期包括利益									
四半期利益(△損失)				△ 368			△ 368		△ 368
その他の包括利益				—		410	410		410
四半期包括利益合計	—	—	—	△ 368	—	410	42		42
配当金				△ 29			△ 29		△ 29
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
自己株式の処分									—
その他				4			4		4
当四半期末残高	3,500	11	△ 122	1,801	△ 3,430	1,369	3,129		3,129

*連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 1 連結財政状態計算書

< 資産合計 >

現金及び現金同等物の減少110百万円、営業債権及びその他の債権の増加13百万円、棚卸資産の増加776百万円となり、前期末と比較し、635百万円の増加となりました。

< 負債合計 >

社債及び借入金の増加367百万円、営業債務及びその他の債務の増加285百万円、リース負債の増加137百万円となり、前期末と比較し618百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

< 売上収益、親会社の所有者に帰属する四半期利益 >

その他に区分する産業用光ドライブ事業の縮小および半導体装置市場の需要が減少したことから、売上収益および営業利益は前年同期と比較して減少しました。また、為替相場の変動に伴い為替差損を200百万円計上した事により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比較して減少し、損失となりました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、減価償却費及び償却費242百万円、金融収益及び金融費用248百万円、営業債務及びその他の債務の増加額224百万円、マイナス要因としては、四半期損失368百万円、棚卸資産の増加額503百万円。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、短期借入金の増加333百万円、長期借入による収入124百万円、マイナス要因としては長期借入金の返済による支出100百万円、リース負債の返済による支出185百万円。



TEAC

Referenceシリーズ CDプレーヤー VRDS-701

時代を超えて蘇った、新開発のV.R.D.Sメカニズムを搭載した、ティアック渾身の70周年記念モデル。

『VRDS-701』は新開発のV.R.D.SメカニズムとTEACオリジナルディスクリットDACを搭載したCDプレーヤーです。

V.R.D.S (Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)は、CDを同径のアルミニウム製ターンテーブルでクランピングし、慣性質量を増大させることで回転振動や不要振動を低減させるTEAC独自のCDドライブメカニズムです。

また、音質の要となるDAC部には、汎用DAC ICを使わず、独自のアルゴリズムを盛り込んだディスクリット回路で構成した、TEAC Δ Σ ディスクリットDACを搭載しました。

『VRDS-701』は、単なるCDプレーヤーにとどまらず、MQAフルデコード機能によるMQA CDの再生や、USB DACとしてDSD 22.5MHz、PCM 384kHz/32bitに対応するなど、今までのCDプレーヤーの枠にとどまらない、次世代のCDプレーヤーとしての機能を兼ね備えています。



ESOTERIC

マスタークロックジェネレーター G-05

デジタルプレーヤーからさらに一歩進んだ音楽表現力を引き出すマスタークロックジェネレーター。

デジタルプレーヤーのさらに一歩進んだ音楽表現力の可能性を追求して開発された、完全自社開発OCXO※クロック・モジュール『Master Sound Discrete Clock』を搭載したマスタークロックジェネレーター『G-05』が登場。

ESOTERIC Kシリーズ、Nシリーズをはじめ、様々なデジタルプレーヤーの潜在的な音楽再生能力を余すところなく引き出します。



※ OCXO = Oven Controlled Crystal Oscillator



TASCAM

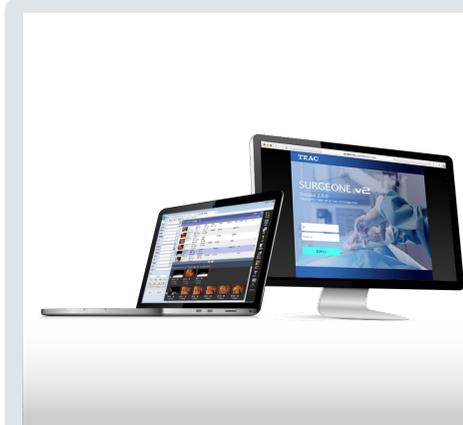
32ビットフロート対応 ピンマイク付き小型オーディオレコーダー DR-10L Pro

『DR-10L Pro』は、映画、ドラマ、結婚式、YouTube、Vlogなどの「声」の録音を明瞭・確実に行うピンマイク付きオーディオレコーダーです。

2017年の発売開始以来、好評を博した『DR-10L』の超コンパクトで軽やかなサイズ感とシンプルな操作性はそのままに、32ビットフロート録音でささやき声から叫び声まで確実な録音をサポートします。

更に、最長24.5時間の乾電池駆動を実現し、長時間にわたる録音でも頻繁な電池交換は不要。忙しい撮影現場でのクリエイターの作業負担を減らします。また、別売のBluetooth®アダプター『AK-BT1』を装着することで、スマートフォンからのリモートコントロールや、Atomos製品を介してカメラとワイヤレスタイムコード同期に対応。

『DR-10L Pro』は、撮影現場のワークフローを大幅に改善する、動画クリエイター待望の次世代型フィールドレコーダーです。



TEAC

手術映像記録システム SURGE ONE v2

『SURGE ONE v2』は、院内の手術映像を一元管理できる手術映像記録・編集システムです。

WEBシステムとなっていますので、既に設置されているPC端末にアプリケーションをインストールすることなく、院内ネットワークでブラウザを使用し、個人のユーザーIDでログインできます。

ログインIDによって、診療科や役職での閲覧・編集の制限や利用範囲の設定等、各種権限の設定が可能ですので、セキュリティー対策も万全です。システムは、学会発表資料用の動画編集や院内動画管理など医療現場に必要な機能のみに絞り込み、低コスト・省スペースでの一元管理を実現しています。

『SURGE ONE v2』では、これまでの日本語・英語対応に加えて、スペイン語対応を実施、現地の病院に採用され欧州への初導入を実現しました。

今後多言語対応を進めていき、グローバル展開を推進していきます。

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英 裕治
従業員数 単体 233名 連結 614名

● 国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックシステムソリューションズ株式会社 [東京都]

● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

役員

代表取締役社長 英 裕 治
取締役 野 村 佳 秀
取締役(監査等委員) 林 健 二
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二

株式の状況

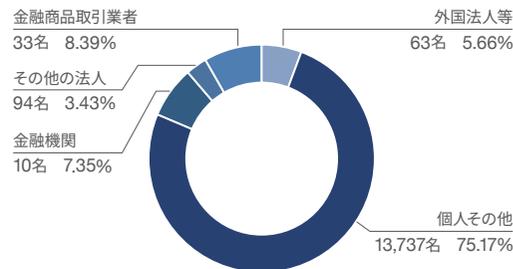
発行可能株式総数 … 40,000,000株
発行済株式の総数 … 28,805,335株
(自己株を除く)
株主数 …………… 13,937名

大株主 (上位10名)

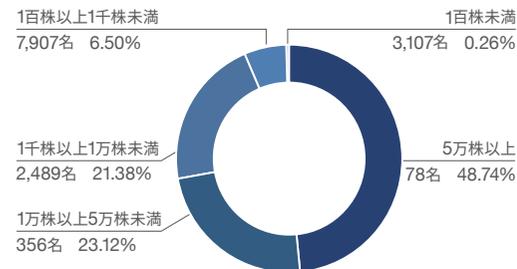
株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,695	5.89
楽天証券株式会社	1,220	4.23
力丸 米雄	940	3.26
松尾 博	778	2.70
上田八木短資株式会社	646	2.24
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	562	1.95
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	529	1.84
株式会社SBI証券	321	1.11
荒井 三ノ進	310	1.08
ティアック社員持株会	293	1.02

※ 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※ 持株比率は、自己株式(126,378株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日網町1-1
TEL 0120-232-711(通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
公 告 の 方 法 電子公告により行う。
公 告 掲 載 URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

- 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711<通話料無料>)にお問合せください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>